第40号
2007/10/1

フクタニュース

発行
(株)フクタ
砕石部

車両大型化へ一歩

燃料の高騰やらで、運送業界は先行き厳しい状況である。そこで前から検討していた車両大型化の一歩として、25トン車を9月より導入した。遠距離輸送に威力を発揮できる目論見である。

走行距離は60万キロを超え、かなりくたびれた中古車であったが、運送の運転手さんが丹念に修理、塗装し、年齢不詳の厚化粧状態であるが、新車と見紛うばかりでさっそうと走り始めている。導入効果があがるよう期待したい。

環境影響調査実施する

プラントの稼動、ダンプの運行等による周辺環境影響調査を実施した。大気中の粉じん量、浮遊粒子状物質、騒音、振動水質について、岩手大学工学部の協力を得て測定していただき、さらに指導、助言、を頂くことが出来た。結果は後日とりまとめ、業務に反映したいと考えている。

ダンプ走行による振動測定

大気中の粉じん捕集

つめあと・・集中豪雨

田んぼが削られ無残な姿に

おびただしい流木

たかが低気圧と前線ごときで、よもやこんなに降るとは・・・。

事務所の机の位置から安比川の水位の上昇が刻々とわかる。２０年前では考えられないような、スピードでみるみる水位が上がってくる。

異常気象が通常気象になってしまっているこれも地球温暖化の一端かも。

岩石採集教室

恒例

本年は少数精鋭、４名のちびっ子鉱物学者に来社いただいた。年々下平工区の埋め戻しが進み、ダイナミックな採掘状況をお見せすることが出来なくなってきたが、ぜひ来年以降もご来場を！

新入社員

９月から福田運送へ１名移動したことに伴い新たに、小井田進さんが入社した。

現場で原石ダンプの運転を担当している。ちなみに平均年齢が一気に０．７歳も若返った。何歳になったかは企業秘密である。

編集後記

９月もあっという間に過ぎてしまいました。９月も道路災害の切削や合材にダンプは大忙しで、出荷にダンプが足りないという日々が多々ありましたそこでお客様に何度と無くご協力を頂きましたことを感謝いたします。

４，５年前、忙しい日は７０台を超える配車を切り抜けてこれたのに、今は３０台となるともうどうにもならなくなってしまいます。今後も出来るだけお答えするようがんばってまいりますが、何卒宜しくお願いします。

Ｙ女史来たる

先日、秘かに尊敬する岩手Ｋ新聞のＹ女史がおみえになった。落札価格が下がるのは困ったものだ。と話し、帰った後考えた。

『物づくりとはなんぞや？』

クオリティーとプライシングの調和ではないか。

新たな価値を創出しても価格が下がるのでは、その産業界自体のモチベーションは低下してしまう。人間の思い、創意工夫、努力が適正に評価されむくわれる社会にしたいものだ。